



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 井上 富雄  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000  
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



## 平成21年度昭和大学入学式挙行される

歯学部長 宮崎 隆

去る4月12日(日)午前10時より、原宿の明治神宮会館に於いて、平成21年度昭和大学入学式が執り行われました。今年の東京は晴天が続き、ソメイヨシノは葉桜になりましたが、明治神宮境内は櫻などの新緑が眩しく春の爽やかな息吹の中での入学式になりました。



今年は会場の都合で例年の金曜日ではなく日曜日の式典になりましたが、医・歯・薬・保健医療学部の新入生604名(編入生を含む)と保護者で、会場は2階席まで埋め尽くされました。昭和大学管弦楽団の格調高い演奏に引き続き、役員が登壇して会が始まりました。細山田学長が真の医療人を育成するために本学では新しい教育を採り入れていることを紹介し、医療人の原点を忘れず、将来のチーム医療を目標に富士吉田校舎で新しいスタートを送るようにと力強い告辞をされました。続いて小口理事長から本学は医系総合大学で日本一の大学を目指しているの、建学の精神である至誠一貫を忘れずに頑張るようにと激励がありました。

各学部の代表による新入生の宣誓があり、歯学部を代表して、早川大地君が超高齢社会を迎えて歯科医療の重要性が益々高まるので責任を果たすべく学業に励みたいと力強く宣誓をしました。在校生を代表して、新入生歓迎行事実行委員会の井上智敬君と岩崎のみさん(歯学部5年)から、自分たちの新入生時の経験をもとに今後の学生生活へ向けて歓迎の挨拶がありました。引き続き恒例になった応援指導部の演武で会場が盛り上がり、最後にグリークラブのリードで校歌を斉唱し閉会しました。

例年は入学式の翌日に富士吉田校舎で入寮式を行い、午後には各学部長が学部オリエンテーションで挨拶していましたが、



今年は入学式に引き続き同じ会場で入寮式を開催し、医・歯・薬・保健医療学部長、片桐富士吉田教育部長、富士吉田教育部の田中學生部長が挨拶をしました。

新入生は昼前に14台のバスに分乗して富士吉田キャンパスに向かいました。目のさめるような青空のもと、雪を抱いた霊峰富士が新入生を迎えてくれ、思い出に残る入学式になったと思います。新入生におかれては、富士吉田キャンパスの1年間で大きく成長して旗の台キャンパスに戻ってきて欲しいと思います。

## 教授就任挨拶

歯科病院総合歯科 佐野 晴男

4月1日に東京都保健医療公社荏原病院から歯科病院総合歯科(連携担当)に赴任しました。どうぞよろしくお願いいたします。



私は昭和48年に東京医科大学を卒業以来、歯科麻酔科→障害者歯科→都立豊島病院→都立荏原病院と36年にわたり遍歴を重ねて来ました。この間に地域の開業の先生方からいろいろな患者さんをご紹介いただき、医療の最前線に一人で立ち向かう開業のお立場に共感してきたつもりです。大学病院、病院歯科など、歯科医が複数存在する医療機関はそれだけで心強いものです。心の余裕を持てる立場にいる者は、その心強さを最前線の方々にお裾分けしなくてはいけない、と考えてきました。おかげさまで都の城南地区の先生方から、困ったときには荏原病院歯科口腔外科を思い浮かべていただける「駆け込み寺」なる称号をいただきました。

我が国は急激な高齢化が進み、有病者や在宅寝たきりの高齢者などの歯科へのニーズが高まってきました。歯学部卒業生の95%は開業し、診療の最前線で複雑多様化した社会のニーズに応じてゆかねばなりません。歯学部教育は依然として細分化した講座制を保っています。時代の変化に大学病院を含めた歯科界が柔軟に対応しきれていないのが現状です。今後は大学病院、病院歯科、診療所がお互いの診るべき患者を担当する、共存共栄・連携を目指すべき時代だと思えます。

私の総合歯科はご紹介いただいた患者さん(特定の科宛は除く)の窓口を務めます。有病者、寝たきり状態の方、小外科的なもの、認知症、歯科恐怖症、

舌痛症等々、開業の先生方が対応に消極的になりがちな患者さんを積極的に拝見いたします。院内各科の力も動員し、患者さんに最適な治療を提供するよう努めます。ご依頼の治療が終わりましたら経過報告とともに、紹介元へ必ずお返しいたします。高いと思われがちな大学病院の敷居を取り払い、電話一本で急患に即応する体制を整えて参ります。忙しい合間を縫って急患に対応することは、自分の腕と度胸、判断力そして評判を高めるものと信じています。

私は歯科という生業(なりわい)が好きです。昭和大学歯科病院には各科に優秀な人材がそろっています。それらの人材に応援を求めつつ、幅広い患者さんに対応できる歯科医になり、若手にも続いてもらいます。荏原病院歯科口腔外科に続き、昭和大学歯科病院も地域の先生方にとって、元気な「駆け込み寺」になるよう努力いたします。お困りの際はいつでもSOSをお待ちしています。

## 戦略的研究基盤発表会 開催される

顎口腔制御疾患学教室 新谷 悟

さる平成21年3月14日(土)、昭和大学歯科病院において、立川哲彦教授を研究代表者として、「分子的理解に基づいた口腔癌の先端的研究:発症メカニズムの解明から QOL の向上を目指した包括的リハビリテーションまで」をテーマとするプロジェクトに関する発表会が開催されました。

このプロジェクトは、平成20年度より、文部科学省私立大学戦略的研究基盤支援事業の補助を受け、実施されているもので、「分子基盤に基づく口腔癌発症メカニズムの解析」「分子的理解による治療体系の確立」「包括的リハビリテーション体系の確立」の3つの研究プロジェクトからなります。5カ年計画で、遺伝子・タンパク質解析による癌診断への応用、前癌病変からの癌化を予測するための腫瘍マーカーの探索などの基礎的研究に加え、癌治療ならびに、口腔癌切除後の顎口腔の形態、機能の包括的なりハビリテーションの確立を目標としています。



今回の公開シンポジウムでは、特別講演として東京医科歯科大の稲澤謙治教授による「癌と遺伝疾患のゲノム・エピゲノム解析」と、新谷による「よりよい口腔がん治療を目指して」の2題が講演されました。続いてのポスター発表では、各プロジェクト計14題の研究結果が発表され、活発で熱心な議論がなされました。今後の、さらなる口腔癌研究の進展が期待される発表会となりました。

## 平成21年度白衣授与式 開催される

小児成育歯科学教室 井上 美津子

平成21年度の昭和大学歯学部白衣授与式が4月3日(木)に上條講堂において執り行われました。歯学部第5学年の臨床実習開始にあたり、臨床実習生としての倫理観や患者さんに対する思いやりの心を再認識して、歯科医師を目指す者としての心構えを新たにするための式典です。昨年までは登院式という形で歯科病院で行っていましたが、今年度より医学部と同様に特製のワッペンを付けた白衣を大学から授与する式典となりました。

当日は晴天に恵まれ、会場には新5年生に加え、歯学部教職員、歯学部2年生、保護者の方々の参加もあり、厳粛かつ穏やかな雰囲気の中かで式が始まりました。佐藤教育委員長の開式の辞、校歌斉唱に続き、宮崎歯学部長から昨今の歯科事情にも触れた告辞があり、学年の成績優秀者として古屋まど香さんの表彰が行われました。続く白衣の授与は、臨床に関連する8名の教授・診療科長から、壇上で学生一人ひとりに行われました。「至誠一貫」のワッペンの付いた白衣を着て、学生諸君も緊張の面持ちでした。学生代表の岩崎このみさんの宣誓のあと、細山田学長、岡野歯科病院長、石川看護師長からの祝辞があり、立川学生部長の閉式の辞で式は無事終了しました。心と技を併せもつ歯科医師になってくれることを祈念しています。



## 進級式と学年最優秀賞表彰

教育委員長 佐藤 裕二

4月3日にD2からD6までの5学年における進級式(オリエンテーション)が開催されました。国試が厳しくなるなか、学生達は緊張した面持ちで進級判定などについて真剣に聞き入っていました。今回から昨年度の優秀学生が教育委員長名で「学年最優秀賞」として表彰されることとなり、D2:田村明日香さん、D3:若林慧さん、D4:中村千穂さん、D5:古屋まど香さん、D6:丸山範子さんと高須玲美さんが受賞しました。今後とも頑張ってくれるものと期待しています。





## 第102回歯科医師国家試験結果

D6チューター会議 上條 竜太郎

第102回歯科医師国家試験結果が3月27日発表されました。本年度の受験者総数は3531名で、合格者数は2383名、合格率は67.5%(私立大学63.1%、国公立大学82.9%)で、昨年度(68.9%)以上に、難関でした。本学部からは新卒者95名、既卒者31名が受験し、それぞれ79名、17名が合格、合格率は76.2%で全国平均を大きく上回り、全私立大学中4位と健闘しました。

本年度も歯学部6年生に対してはチューター制度を実施し、補習、学内模試をはじめ、チュートリアルを導入して昨年度よりさらにきめ細かな指導体制をとりました。ご協力いただいた皆様にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。急速に難易度を増した歯科医師国家試験の現状を考慮し、1人でも多くの卒業生が合格できる体制を築く必要があります。来年度は教員、学生一丸となって卒業生全員合格を目指したいと思います。皆様のご指導、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 大学機関別認証評価で高い評価を受ける

歯学部長 宮崎 隆

大学は、その教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況に関し自己点検評価を行い、政令で定める期間(7年以内ごと)に、文部科学大臣が認証する評価機関(認証評価機関)の実施する評価(認証評価)を受けることが義務付けられています。

本学は、平成20年度に財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、昨年9月24-26日に実地視察を受け、自己評価報告書を提出しました。去る2月に正式に評価報告書が公開され、大学全体として「大学評価基準を満たしている」との認定を受けました。

今回の認定では、大学の建学の精神と使命・目的が、種々の手段で学内外に広く周知すべく努力がなされていること、富士吉田教育部で全寮制教育を実施し、人格陶冶、学部間の教育上の連携に寄与していること、歯学部を始め各学部で海外学習、早期体験実習、PBL チュートリアル教育などを採り入れて、将来の医療・福祉の担い手としてのモチベーションを高める教育が行われていることほか、ほぼすべての評価項目において高い評価を受けました。これは私達にとっても大きな自信となりました。今後、歯学部においては昭和大学の一員として、さらに資質の高い歯科医療人を育成し、社会の期待に応えられるように教育研究等の充実向上に努め、教育の質の保証に取り組んでまいります。

## 昭和大学共同研究 研究成果発表会 開催される

口腔生化学教室 片岡 有

去る3月21日土曜日に昭和大学共同研究成果発表会が開催されました。平成20年度からの3年間、学部の枠を超えて5つの大型課題を解明しようとする試みです。今回は1年目の中間報告発表会で、午前4号館600号室で研究代表者による総括発表が行われ、午後は7号館(50周年記念館)でパネル討論会が行われました。パネル討論会における54の報告の中で、12の報告が歯学部からでした。

私は、「分子再生医療の基礎基盤(研究代表者:宮崎 隆教授)」という大型課題のグループで、「生体分子複合体による骨再生法の開発」という演題名で液中放電法により作製した骨補填材の研究成果を発表しました。他学部の先生からも手技や応用方法に興味を持っていただき活発な討論をすることができました。歯学部の研究室ということではいつのまにか口腔内ばかりに関心が集中しがちでしたが、普段気付かない視点からの意見を聞くことが出来て、改めて研究の幅の広さを思い知りました。

細山田学長の閉会の辞では、今後もできる限りこのような企画を推進し、我々研究者に研究および発表の場を与えてくださるそうです。お互いの研究を理解し合い共同研究を進めていくことは、医系総合大学としての価値をより一層高めるものと思います。



## 昇任・採用

広報委員長 井上 富雄

佐野晴男:教授(総合歯科:4月1日付)  
外菌知恵:助教(口腔病理学:4月1日付)  
川本真央:助教(口腔病理学:4月1日付)  
西村(旧姓 玄番)晶子:助教(口腔生理学:4月1日付)  
唐川亜希子:助教(歯学部長直属:4月1日付)  
久保田一見:助教(口腔衛生学:4月1日付)  
田代三恵:助教(総合歯科:4月1日付)  
朽名智彦:助教(病院長直属:4月1日付)

## 専門医・認定医取得

広報委員長 井上 富雄

日本老年歯科医学会 認定医取得  
下平修(高齢者歯科学 講師)  
七田俊晴(高齢者歯科学 助教)  
桑沢実希(高齢者歯科学 助教)

## 図書館オリエンテーション

歯科医学教育推進室 片岡 竜太

4月3日(金)と9日(木)に「問題解決と生涯学習コース」の入門授業として、「図書館オリエンテーション」を図書館司書の和田佳代子(歯学部兼任講師)、川口里美、高橋由佳3氏のご協力を得て行いました。「疑問を明確にして、キーワードを選択し、図書やweb検索をし、調べた内容をA4用紙2枚以内にまとめて、グループのメンバーに説明する」事を課題にしました。学生は配布された全身と口腔に関連する2つのミニシナリオに対して、疑問とキーワードを明確にした後に図書館で図書を探し、webによる情報の検索を行いました。各自調べた内容をwebの支援システム上に提出すると同時に2日目に同じグループの学生に説明しました。web上で学生の提出物をあらかじめチェックし、学生が苦手だと考えられる部分を中心に和田さんが解説を行いました。「目標書きだしシート」、反省と今後の目標設定としての「振り返りシート」「成長報告書」を電子ポートフォリオとして、webで提出してもらいました。アンケートの結果、95%の学生が、webによる情報の活用方法、その利点欠点が理解できたと回答していました。また「今後疑問が生じた際に図書館やwebを活用して解決できそうですか?」という問いに対して、25%の学生が「できる」、50%の学生が「おそらくできる」、30%の学生が「挑戦したい」と答えていました。自己主導型学習に関する卒業時の要件を明確にした上で、学生の習熟度に応じて引き続き、情報リテラシーに関する授業を行う必要があると思われました。



## 行事予定

広報委員長 井上 富雄

5月13日(月):D2健診  
5月14日(火):D3・D4健診  
6月 5日(金):D2防災訓練  
6月20日(土):父兄会総会

## 診療統計(平成20年3月分)

医事課課長 久米 徳明

	患者数	1日平均	前月1日平均	前年1日平均
外来患者	20,050	802.0	732.4	801.5
入院患者	478	15.4	13.3	12.9

## 平成21年度大学院入学式 開催される

大学院歯学研究科運営委員会 上條 竜太郎

4月4日(土)に昭和大学大学院入学式が上條講堂にてとりおこなわれました。今年度は、医学研究科に51名、歯学研究科に32名、薬学研究科に64名、そして保健医療学研究科に9名の大学院生が入学いたしました。

開会の辞のあと、細山田明義学長が大学院生としての心構えについて訓示を垂れ、その後、小口勝司理事長、安原一医学研究科長、宮崎隆歯学研究科長、山元俊憲薬学研究科長、副島和彦保健医療学研究科長による祝辞、学生による宣誓、校歌斉唱を経て終了しました。入学式終了後には各研究科においてオリエンテーションが行われました。

歯学研究科の新入生には、今後それぞれの所属研究室において努力を惜しまずに研究に打ち込んでいただき、将来、各専門分野でリーダー的な立場で活躍するよう期待しております。



## 受賞

広報委員長 井上 富雄

・鈴木大(口腔生化学 大学院4年): 3月21日にオーストラリア・シドニーで開催された国際骨代謝学会におきまして、Travel Awardを受賞されました。演題名「Essential role of small GTPase Rac1 during limb development」  
・宮崎隆(歯科理工学 教授): 4月11日に第53回日本歯科理工学会におきまして日本歯科理工学会学会賞を受賞されました。  
・竹内健一郎(歯科理工学 大学院4年): 4月11日に第53回日本歯科理工学会におきまして、第52回学術講演会発表優秀賞を受賞されました。演題名:「ジルコニアセラミックスに対する各種歯科用セメントの接着耐久性」



## 編集後記

歯科薬理学教室 坂井 信裕

新年度がスタートしましたが、なぜ4月からなのでしょう。当時、世界有数の経済大国だったイギリスの会計年度が西暦(グレゴリオ暦)4月から翌3月までだったことから、日本もこれに倣って1886(明治19)年に改められました。日本の四季で最も美しい季節にスタートできることは、晴れやかで新たな意欲が湧いてきます。末筆となりましたが、年度始めのお忙しい時期にも関わらず、ご寄稿下さいました諸先生方には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。